

公民館の文化的役割の

拡大について

林 昌子 議員

質問 文化的役割の拡大とは、公民館の大ホールについてです。大ホールで行われている講演会・映画鑑賞会等におけるチケット代の金額は、高くても1000円前後で抑えた事業の内容と認識しています。そこで、文化芸術面に限っては、例えば2000円、3000円払っても住民の心をいやし、あすへの活力となる英気を養えるものであれば、企画してもよいのではないかと考えるわけです。より多岐にわたる活動を展開できる施設へと望む上で、規制緩和が必要であると考えます。見解をお伺いいたします。

答弁（教育次長） 市町村が設置する公民館は、目的・事業・運営方針が社会教育法に規定され、同法に

基づき、運営しています。営利を目的とした事業、特定の政党の利害に関する事業、特定の宗教を支持する事業を行ってはならないといった制約があります。そこで、他市町村の例をみますと、営利目的の事業が可能となる方法があるようです。しかし、本村では、国民年金還元融資資金を財源として、公民館を建築しました。財源の関係上、位置づけを変えてしまうことに、問題が出てこないかというところもあるかと思いません。そうした、多方面の検討が必要になってくるかと考えています。

住民の視点に立ち、検討を進めたいと考えます。

AEDの住民講習について

質問 心肺停止患者の心臓に、電気ショックを与えて救命するAED、いわゆる自動体外式除細動器を公共施設に設置及び貸し出しを行い、村民の救急救命の対策に力を入れています。しかし、器材があっても、使えなければ意味がありません。そこでお尋ねいたします。

- ① 村内AEDの利用状況、貸し出しも含め、その現状
- ② 村の講座で、多くの方に受講できる機会の提供を検討できないか
- ③ 中学生への講習会の実施ができないか

答弁（総務部長） ①②についてお答えします。学校・役場を含む主な公共施設11カ所にAEDをリース方式で設置し、緊急時の対応に備えています。しかし、

これまで貸し出しも含め、1件も利用されていないといった現状です。

心肺蘇生法とAED使用法を組み合わせた講習会の実施は、江戸崎消防署美浦出張所に問い合わせたところ、1回10名程度であれば、署において講習を行うそうです。個人であっても、連絡いただければ指導させていただきます。この講習については、広報紙やホームページを通じて、今後周知を図りたいと考えています。

答弁（教育次長） ③についてお答えします。美浦村の小中学校教職員91名全員が、心肺蘇生法・AEDの操作研修会を修了しております。提案の中学生への講習の実施については、既に中学校と、協議を進めており、平成25年度中には研修を行うことができるものと思っております。